

# イエス団報

## エクレシヤとしてのイエス団

常務理事 村山盛嗣



私たちの法人は、当初「救霊団」という名称で仕事が始まりました。ところが間もなく、救霊隊という同じキリスト教の団体ができ、非常にまぎらわしくなったため、賀川先生のもとに集まっていたセツツラー等の合議により、「イエス団」と改称された、という経緯があります。

私は神戸に赴任した当時、どうもこの「団」という音に馴染めなく、友人の牧師から「君はいつから他教派に移ったの」と冷やかされたりすると、なんとも一層気になったものです。でも賀川先生は各地に事業を起こされ、大阪イエス団・本所イエス団・曾根イエス団と、その都度この名を冠し大変気をつけておられたわけです。太平洋戦争勃発直後のことですが、教区より教会に対し

てイエス団の名称を国策にそって変更するよう要請された時、先生は持っていた靴をいきなり板張りに投げつけて『できません。そんなことは決してできません。誰がなんといつてもできません』と大変な剣幕で怒りをあらわにされたということです。先生の「身辺雑記」によると、イエス団の名はカトリック教会の「イエスイット」(イエズス会)から思いついたと述べられています。イエスイットとは宗教改革に對抗して、カトリック教会の内部分から改革する目的で結成された修道会です。日本へ最初にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエル等の働きに見られるように、厳しい迫害にもめげず、伝道・福祉・医療・教育の活動を通して、目的を遂行しました。その志と姿勢に先生は共鳴され、イエス団の使命に重ねられたものと思われまます。

この度の大震災の折、小説「キリスト」のなかに大変興味深い箇所をみつけました。普通聖書で「教会」と訳されている「エクレシヤ」(神に召集された民の集会の意)という語を、先生は「新しい社会」(マタイ16:18)及び「団体」(マタイ18:17)という意味で用いられている点です。例えば、ペテロに対するイエスの有名な言葉「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てるといふ所を、その信念の上に新しい社会を築いてくれ」とされているのです。私は先生が当初から、救霊団・イエス団と「団」にこだわられた理由がここにあるのではないかと受け取りました。イエス団とは人が人として尊ばれる「新しい社会」を築くために、神に呼び集められた「団体」であるということです。「我々が神を信じるのではない。神が我々を呼び給うのである。このことを信じるのが信仰である」と言い表されたのは賀川先生です。イエス団は先ずこの信仰に存在の根拠をもつ共同体です。人を人と思わない古い状況(社会悪)とたたかい、最微者(いとちいさきもの)に仕えた先賢たちの精神を引継ぎ、二十世紀の新しい社会を築く作業に参加したいものです。

◆発行者 雄 今井鎮  
◆編集者 絢 黒田  
◆発行所 神戸市中央区  
百番通 5-5-20  
社会福祉法人  
学校法人  
イエス団  
TEL:078-221-9565  
FAX:078-221-9566

## 賀川先生と私

鞍好子

二十才の頃当時市電で通勤していた私の目に珍しい建物が止まった。平和、博愛、敬虔、労働と縦書に大きな看板のある建物だった。或る日一枚のピラを頂きそれを見ると基督教の伝道集会で講師は賀川豊彦とかかれていた。会場はあの不思議な建物だった。仏教信仰の深い家庭に生まれ育った私は基督教等とんでもないと思っただけ、ピラを下さった友人の誘いを断れなくて出席した。集会は立錫の余地なく人で埋

もれていた。現れた講師は普通体体に似合わず大きな大きな声で日本の現状を憂いて愛による新生をしなければ日本は精神的に滅んでしまう。と実に熱烈に叫ばれていた。それは恐ろしい位だった。私は圧倒されてその熱意に動かされた。この方が語っている聖書をもっと知りたい。この方の力の原動力を知りたいと求めた。聖霊の力に押し出されて、国と人を愛し救われる人が増すように働かれた姿は、若い私を捉えた。今もその思いは変わらない。

## 賀川先生と私

田中芳三

先生の最後のお姿を紹介します。毎年一月二〜四日、イエスの友聖修会を大変楽しみにしておられ、一九五九年のこの会合は、殊に健康がすぐれず周囲の助言を省みず無理して参加された。五回の大講演をされたが、「わが師長尾巻ご夫妻を語る」という講演の最中、後ろを向いたまま数分間泣かれた。そして毎年この集会のあと直ぐ徳島に帰り幼少時すこされた幼な友達に会い、郷里伝道をされることを最高の楽しみにされていた。

しかしこの時の健康状態は、夜も湯たんぽを腹と背中に抱いて寝られていた程最悪で、大阪の吉田金田両牧師と田中の三人が徳島行きを猛反対したにもかかわらず、夕刻神戸を出発。宇高連絡船に乗られ、船中で倒れたのである。高松の聖ルカ病院に即入院。「賀川が倒れた」のニュースは、日本の報道機関より先に、外国のテレビやラジオで放送された。

一九九九年度 法人の動き

●社会福祉法人の動き

1) 理事会の報告

第1回 5月13日、(一九九九年) 九年度事業報告と決算 創立九〇周年行事等4議案)

第2回 7月5日(光の子保育センター建築について)

第3回 10月26日(馬見勞博、光の子保育園増築の件等 17議案)

第4回 3月21日 (理事改選、評議員改選等12議案)

第5回 3月21日 (二〇〇〇年度事業計画、予算他評議員会決議について)

以上5回の理事会がもたれ、総数で35議案について討議されました。

2) 評議員会の報告

第1回 5月13日、(一九九九年) 九年度事業報告と決算、創立九〇周年行事等3議案)

第2回 3月21日、(理事会報告、監事改選等8議案)

以上2回の評議員会を開き、総数で11の議案について討議してきました。

3) 常任理事会の報告

第1回 8月12日、(施設長会の処理事項、事務局体制等6議案)

第2回 2月1日(法人組織改革案、新会計規則導入について等5議案)

以上2回の常任理事会を持ち十

一の議案について討議しました。

4) 企画委員会の報告

第1回 4月1日(創立九〇周年 憲章、費用ついて)

第2回 6月3日(創立九〇周年 憲章、記念集会、要覧について)

第3回 9月2日(創立九〇周年 憲章、取り組み状況、融資制度、広報について)

第4回 10月22日(創立九〇周年事業、新任職員研修会について)

第5回 1月27日(新任職員研修会、合同施設長研修会、創立九〇周年事業等)

第6回 3月24日 (合同施設長研修会について)

以上6回の企画委員会がもたれ、創立九〇周年記念事業としてイェス団憲章、要覧、記念集会等の企画検討をしてきました

5) イェス団創立九〇周年記念事業について

一九九九年、創立九〇周年記念の特別事業として、イェス団憲章を制定し憲章板を作成して各施設に配布、イェス団の事業要覧も作成しました。

又、7月5・6日の施設長記念集会(三十四名参加)を皮切りに、一〇月三〇日大阪ブロック記念集会(78名参加)、十一月一〇日豊島ブロック記念集会(57名参加)、十一月二〇日兵庫ブロック記念集会(108名参加)、一月二十二日京都ブロック記念集会(85名参加)、三月二〇日四国ブロック記念集会

(54名参加)と6箇所での記念集会(416名参加)を持つことができました。

6) 研修会の報告

\*雲柱社、イェス団合同中堅職員研修会

十一月一七日、十九日、雲柱社のお世話により合同中堅職員研修会を東京に於いて開催、雲柱社27名、イェス団27名が参加しました。

\*イェス団新任職員研修会

三月二十三日、二十四日の両日、京都において、長尾文雄先生のご指導のもと二〇〇〇年度の新任職員の研修会を開催し、42名の新任職員が参加しました。

7) 新規事業への取り組み

\*一九九九年に新たに以下の事業を設置しました。

○京都 愛隣デイサービスセンター内に「障害者地域生活支援センター」

○神戸 真愛ホーム傘下に「東川崎デイサービスセンター」

○徳島 光の子保育園に「光の子保育センター」

\*検討を開始した事項

神戸保育専門学院の「ホームヘルパー養成講座」、豊島神愛館の移設について及び離島豊島に於ける福祉にイェス団としてどう仕えていくのか等があります。

8) イェス団報の再刊

徳島・光の子保育園の黒田 絢園長、黒田信雄副園長のご尽力により、なごらく休んでいましたイェス団報が二月一日に再刊する事が出来ました。感謝です。

◆◆◆◆◆

●学校法人の動き

1) 理事会、評議員会の報告

第1回 5月13日(一九九八年) 九年度事業報告と決算、創立九〇周年行事等 3議案)

第2回 8月5日(二〇〇〇年度 園児募集・資金収支予算補正)

第3回 3月21日(二〇〇〇年度事業計画、予算等 3議案)

以上のように、3回の学校法人の理事会と評議員会が開催されました。

◆◆◆◆◆

●社会福祉法人の新体制について

\*三月二十一日の理事会、評議員会に於いて、改選された理事、評議員、監事は以下の方々です。ご苦勞様ですがこれからの2年間よろしく願います。

\*理事

今井鎮雄、石田正弘、齋藤 宏、木村量好、黒田 絢、高村 勲、村山盛嗣、緒方 彰、小川 居、田中芳三、鞍 好子

以上十一名、(定員十一名)

\*顧問 賀川純基

理事長 今井鎮雄、指名の理事 石田正弘、常務理事 村山盛嗣

\*評議員

今井鎮雄、石田正弘、木村量好、村山盛嗣、緒方 彰、小川 居、田中芳三、鞍 好子

以上十一名、(定員十一名)

\*顧問 賀川純基

理事長 今井鎮雄、指名の理事 石田正弘、常務理事 村山盛嗣

\*評議員

今井鎮雄、石田正弘、木村量好、村山盛嗣、緒方 彰、小川 居、田中芳三、鞍 好子

以上十一名、(定員十一名)

\*顧問 賀川純基

理事長 今井鎮雄、指名の理事 石田正弘、常務理事 村山盛嗣

\*評議員

今井鎮雄、石田正弘、木村量好、村山盛嗣、緒方 彰、小川 居、田中芳三、鞍 好子

以上十一名、(定員十一名)

\*顧問 賀川純基

理事長 今井鎮雄、指名の理事 石田正弘、常務理事 村山盛嗣

\*評議員

今井鎮雄、石田正弘、木村量好、村山盛嗣、緒方 彰、小川 居、田中芳三、鞍 好子

田中芳三、鞍 好子、竹内正枝、森 彬、真部マリ子、難波俊子、小川佐和子、仲沢一彦、祐村 明、白川由紀子、長谷川進一郎、吉田洋子、花盛音羽、谷 孝子、山口房江、神谷羊子。以上二十四名(定員二十七名)

\*監事 中村良平、山口政紀

\*常任理事 石田正弘、木村量好、黒田 絢、村山盛嗣、小川 居

又、以下の方々企画、編集の委員を担当していただきます

\*企画委員 仲沢一彦、祐村 明、二宮英喜、平田 義、谷 孝子、石田正宣、品川卓也、黒田信雄(後日大阪ブロックより1名追加します)

\*編集委員 黒田 絢、梅村貞造、石田正宣、木村 耕、黒田信雄

(報告：川田)

【お知らせ】

長い間本法人の事務局で、法人全体のお世話を下さっていた近藤孝子さんが、六月三〇日付けをもって職を退かれました。たくさんさんの施設の本部事務に全力で取り組んでくださいました。あらためて同姉のご尽力に敬意を表すると共に、今後のご活躍をお祈りいたします。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。

大変お世話になりました。



### 各ブロックの動き

#### 〔京都ブロック〕

地域ネットワークづくり

～南浜子育て支援協議会～

京都市伏見区南浜学区といえは「日本の酒」で有名な造り酒屋・月桂冠の町内会であり、イエス団の施設・桃陵乳児保育園と桃陵保育園は同学区に所属して、園長の木村量好は施設に住み込んで三五年地域の民生委員をしている。

時代の流れの中で中学や小学校の荒れようは厳しく、特に学内での暴力・いじめ・虐待は増加の一途をたどる状況で、地域に緊急電話相談を官民一致で作上げた。今からちょうど一年半前のことである。

名称は「ひまわり電話相談」～あなたは子育てに悩んだとき、誰に相談しますか。ポスターやチラシを地域にまいていく。運営委員の構成にも特徴があり、中・小・幼・保の代表、運営事務所長、民生児童委員全員で構成している。

二十四時間受付のため、設置引き受け場所が問題。「私が引き受けます」で一件落着。地域のホットラインの研究発表などをして、点と線となり、面に拡がるよう願っている。賀川豊彦のセツツラー精神が今、京都に根付きつつある。

(報告：木村量好)

#### 〔四国ブロック〕

各施設の近況をこ報告します。

豊島神愛館：瀬戸内海国立公園のど真ん中、風光明媚で自然「豊かな島」豊島(てしま)にある乳児院です。今十三人の0歳から3歳までの子ども達が十六人の職員に養育されて生活しています。

豊島保育所：乳児院と同じところにある保育所。豊島人口一四〇〇人。乳幼児から中学校までの子どもが約一〇％。その少ない子ども達の中から十一人が毎日元気に登園してきます。1998年度は、幼児が少なく休園していましたが、住民の強い要望で昨年からは再開しました。たとえ園児が一人になってもやめないといい条件で。経費の不足分は土庄町が補助してくれることになっています。

坂出青愛館：1937年セツルメント活動として発足。当初より0歳児産休明け(生後2ヶ月)より就学前(6歳)までの保育を実施。現在、園児181名が在籍しております。働く保護者のニーズに応え、午前7時より午後7時までの延長保育(30名)を行なっております。保育所地域活動事業として地域の老人会、退所児との交流会、地域文化を伝承しております。水曜日には育児相談もしております。

豊島ナオミ荘：第四面「施設紹介」で詳しく紹介しています。  
光の子保育園：今春、「保育センター」が日自振・県・町の補助をいただいて完成。乳児の受入人数が増え、一時保育も実施しています。現在園児109名が在籍しております。



〔大阪ブロック〕  
大阪ブロックに所属する施設は、大阪府・奈良県・和歌山県の中に十一ヶ所あります。



〔天使の園保育園〕：園長の浜田信雄先生が病気になる前、平成十一年三月三十一日付にて園長を辞任され、四月一日付で木村妙子姉が園長に就任されました。浜田前園長在任中にイエス団創立九〇周年事業の一環として、十月三〇日に今井鎮雄理事長の出席の下、記念講演とイエス団憲章の伝達式をおこない、七十八名の参加者があり、ブロックの交流を深めました。

〔聖浄保育園〕：定員二二〇名に対して八十二名まで回復し、施設の努力の跡が見られ、定員まであと一歩というところ。関連の生野教会は、前浪花教会牧師・三好博先生が代務者として礼拝を指導されている。

〔くずは光の子保育園・ケアハウス楠葉新生園〕：少子化の予算により、大型バスを購入し、駐車場を改修しました。運営については順調にいらっています。  
〔愛之園保育園〕：七〇周年の記念式典と祝会が平成十年十月二四日に神谷羊子園長のもと持たれ、地域の人々も参加して祝福されました。

〔馬見労働保育園〕：教会の花盛敷一牧師が代わり、保育園も交代の準備を進めています。  
〔天使保育園・ガーデン天使他〕：建設時の多額な償還金があるが、多くの人々の寄付によって返済されている。小川居先生の健康は暫時回復に向かいつつあるが、ご加増ください。

(報告：石田正宣)

〔兵庫ブロック〕  
〔神視保育園〕：八月に四才の依光秀夫君が京都住いのお父さんと遊び、思わぬ事故で召されました。十月十九日、保育園で「秀夫君を贈る会」を開きます。  
〔天隣乳児保育園〕：園での様子が一目で分かる写真、それを「より見やすく」カラーコピーして園だよりに使っています。「おばあちゃんにも見せよう」などと保護者にも好評です。

〔一麦保育園〕：園の周辺は震災後の区画整理工事が進行中で、園庭も二％カットされた。現在外周フェンスを全面再構築中で十一月末完成予定。  
〔みどり野保育園〕：園長が交代し、気持ち新たに保育に励んでいます。塩瀬山の家の設備等老朽化が著しく、今後の運営が課題となっています。  
〔のぞみ保育園〕：七月の同園会に脳腫瘍で入院中の卒園児が参加した。身体の自由がきかないが、友だちと会えてうれしそうであった。

〔杉の子保育園〕：九月三日(日)園の父親の会主催のバーベキュー大会が神戸しあわせの村で開かれた。晴天の下、親子と保育士百三十名がゲームと料理を楽しんだ。  
〔真愛ホーム〕：介護保険ではつきりしたのは大規模施設は増収で二コニコ顔。小規模施設は減収で膨れっ面。真愛は後者。いと小さき者あわれ。

〔友愛幼児園〕：全職員で三オクターブのトーンチャイムに挑戦。敬老の集いで大好評。中国留学生による胡弓演奏会も開き、園児と楽しみました。  
〔神戸保育専門学院〕：本学院は創立三〇周年を迎えました。秋には、記念行事を行い、神様のお導きに感謝するとともに新たな出発への契機とします。

(4面へつづく)



(「兵庫ブロック」つづき)  
 (甲子園二葉幼稚園)：折りに支えられ、一人一人の子どもの成長を楽しみ、日々の保育に励んでいます。新築移転して五年着実に根をおろしています。

イエス団の施設②

特別養護老人ホーム

豊島ナオミ荘

- ◎住所／香川県小豆郡土庄町豊島家浦43の10
- ◎創立／一九八九年五月一日
- ◎定員／三〇名
- ◎施設長／夏目昊一



◆DATA◆◆◆

交通手段：小豆島土庄港より30分(唐櫃港)／宇野港より40分(家浦港) 小豆島フェリー利用。各港より車で10分

乳児(神愛館)が老人を生むという、数奇な運命で誕生した豊島ナオミ荘ですが、トイレ隣接の2人部屋が主体で、眼下に広がる青い海。白い船を眺め、折々の自然を満喫できる快適な環境は、常に見学者の称賛を頂いております。

このすばらしい環境を阻むものが宇野(岡山県)からも小豆島からも海上四〇分の航路です。高松市からは、さらに一時間の船旅が加わります。たった三〇名の小規模施設ですが、島内出身者はわずか一〇名。あとは隣りの小豆島からですが、航路に抵抗があり、常に定員割れの危険性ははらんでいます。職員は、島内と小豆島からの通勤者のみで、島の生活に順応することは、島外の人たちにはなかなか困難です。経営・運営の要である施設長が、この十年間に六回交代したのが最大の問題で、年間一千万円もの償還責任を負うことは、常人では不可能です。イエス団の中で、どなたか来てくださいますか？使命感を持った後継者の育成が急務です。

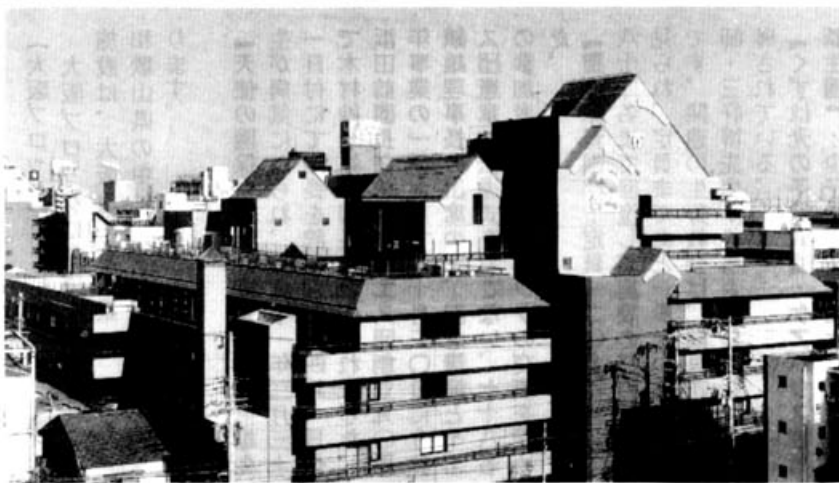
(賀川記念館)：震災の混乱の中、意思疎通の欠如で大変苦労された在日の方々、の強い希望によってオモニハツキヨ(識字教室)が生まれました。

イエス団の施設③

特別養護老人ホーム

真愛ホーム

- ◎住所／神戸市中央区日暮通5-5-17
- ◎創立／一九九六年十月一日
- ◎定員／特養50名、シヨート40名、デイ45名
- ◎職員数／正職58名、嘱託12名、パート61名
- ◎施設長／二宮秀喜



◆◆◆DATA◆◆◆

最奇りの交通機関：JR・阪急「三宮駅」より東へ徒歩10分強  
 TEL 078-251-7000 FAX 078-251-7021

一九九六年十月にオープンした「真愛ホーム」は、介護保険移行に際し総称を「神戸高齢者総合ケアセンター真愛」としました。

大きくは、法人直営の「特別養護老人ホーム・真愛ホーム」と神戸市から委託を受けた「東部高齢者介護支援センター」の二つから成っており、高齢者のあらゆるサービスタに、高年齢者の多機能・市街地型の専門的総合福祉施設として、24時間年中無休体制で活動しています。「特養」50床は、個別処遇に優れた「シヨートステイ」40床(神戸市内最大)と「ホームヘルプ」は在宅サービスマ重視を目指し、「デイサービス」は、一般型30名、痴呆専用型10名の両タイプを備えています。又「介護支援センター」をもち、自立・要援護すべての高齢者の相談・要請すべく、他に高齢者専用住宅のための「生活援助員派遣事業」も実施しています。

※情報公開が時代の流れである事を「イエス団報」を編集して実感します。単に法人全体の連帯を深めるだけが目的ではなく、法人としてのイエス団を広く理解していただく努力が必要だということでしょうか。

※お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆さんありがとうございます。(信)